

看護学雑誌 第42巻 総目次

1978年1-12月

(表示は、題名：筆者名、号数、ページ数)

マイ・オピニオン

- 保健婦って？：時舘千鶴子，1，17.
地方看護研究学会を終えて：岡田幸子，2，129.
病棟責任者として思うこと：井上勢子，3，241.
このごろ思うこと：菅原ミエ，4，353.
潜在看護婦の言葉に考えること：松尾月子，5，465.
主体性をもつことの意味：三浦俱子，6，577.
30年後の訪問に思う：寺島敏子，7，689.
体験的患者心理：中尾アヤコ，8，801.
7年ぶりに学生にかえて：高峰道子，9，913.
医療ソーシャルワーカーの眼から：丸毛静香，10，1025.
看護の継続性について思うこと：内山カツ，11，1137.
看護婦個人も責任をとる体制を：山内香住，12，1249.

特 集

- 拡大する看護の役割——看護専門分化の方向を探る
看護専門分化の方向とあり方：波多野梗子，1，19.
看護の専門分化にともなう教育のあり方——アメリカ
の動向と日本の現状への考察：小島操子，1，26.
看護の役割・業務の拡大をどうとらえるか：島内節，
1，35.
最近のアメリカにおける看護専門化の動向：松本光子，
1，45.

看護士の役割を考える

- 看護士成立の歴史的状況とこれからのあり方：矢野真
二，2，131.
これからの看護士の役割——その教育制度・免許制度
の改正に向けて：藤野邦夫，2，135.
看護士としての意識向上と発展性を考える：城下賢・
野中広志，2，142.

地方個人病院に生きる看護師のあがき：上村秀美，2，
148.

座談会／男性看護者に問われるもの：赤坂守保・大淵
誠一・尾上孝文・中谷靖文・矢野真二，2，156.

自分の死を知った患者への援助

- 自分の死を知った人に私たち看護婦は何ができるか：
寺本松野，3，243.
死の過程への参画を：柏木哲夫，3，250.
患者の死への不安を知りながら：石原美恵子，3，257.
死が日常的に語られる場で：後藤直美，3，263.
死に直面している患者から学んだこと：高野満子・佐
佐木恵子・田口美絵子・佐伯幸子，3，269.
死を目前にした患者にどんな手伝いができるのか：太
田敏子，3，273.
対談／死への歩みをともにしたい：寺本松野・佐久間
敏子，3，279.

老人の褥瘡

- 老人の褥瘡とそのケアに関する実態調査：賀集竹子・
大淵律子・早川美枝・小林万里・吉田志津江・島田
美代子・新井勝江・和田満智子・永田ちか子，4，355.
老人の褥瘡予防に関する調査研究：鎌田エイ子・大淵
律子・賀集竹子・中井英子・早川美枝・木戸孝子・
吉田志津江・島田美代子・新井勝江，4，369.

看護婦としての私を支えるもの——看護の先輩から 新卒ナースの方へ

- 私をとりまく人びとからの学び：池野栄子，5，467.
ある体験に支えられて：松村悠子，5，472.
私につきつけられた様々な状況——私はどうのりこえ
ていったか：加藤久美子，5，477.

使命感にもえて：水本満子，5，483.

悲しみをのりこえて：矢萩はる，5，487.

痛みつづける患者への援助

痛みの前にふみとどまれるかが：中西睦子，6，579.

あまりの痛みの前にただ苦悩してしまう：永里明美・

手島栄子・関根七巳江・小高こづえ・伊藤和枝，6，584.

葛藤と当惑を重ねながら：菅原富子・佐藤麗子・森田芳子，6，590.

看護に無力さを感じる時——逃れられない痛みをもった患者とのかかわり合いのなかで：成田登美子・岡本ヒデ・山村つる子・園田雅子・菅井真理子，6，597.

希望のない痛みを前にして：平田文子，6，602.

予後不良な子どもの痛み：森川紀代子，6，607.

実践のなかでの体験と学び

看護婦としての自己形成の軌跡を探る——臨床実習における学生の体験と学びを通して：近森芙美子，7，691.

‘人間らしさ’を求める内なる声——助産婦としての生きざまを振り返って：山西みな子，7，699.

‘ホンネ’の人間との出会いを求めて——病者として，また看護婦としての体験から：坂梨秀子，7，710.

自己変革から行政の担い手として——保健婦として地域活動をつづけながら：水野優子，7，717.

そこにある‘個’への憧憬：熱田小津江，7，725.

実践のなかでの体験と学び・2

こどもの看護への出発——厳しい実習のなかでのこどもとの出会い：吉武香代子，8，803.

試行錯誤的な経験を積み重ねながら：塚本靖子，8，807.

患者を1人の人間としてみる眼——アメリカの看護を学んで：長浜晴子，8，812.

生きた看護教育——その学びを支えに：遠藤幸子，8，818.

‘よい看護’をしたいという願い——仲間と悩みや苦しみをともにして：佐藤美紀子，8，823.

治療の手だてのない患者への援助

人間が人間を支えきれぬものと信じたい：小林紀子，9，915.

理想と現実の看護のはざまで——医療から見放された

患者の生活の場を考えた時：奥田絹江・筒井スマ子・橋本真千子・斉藤京子，9，921.

主体的に対応できなかった弱さを糧として：稲崎みどり・片山明子，9，928.

患者とともに病気の中に意味を見いだしたい：松井きよ子，9，933.

患者にそのままの自分を出してみた：矢込恵美子，9，939.

援助の可能性と限界

援助の限界状況への取り組み：廣田典祥・村岡侑子・丸谷房子，10，1027.

人間関係への援助：伊藤正子，10，1034.

病気にしがみつくと人との闘いのなかで：藤田郁子，10，1039.

精神科における援助——その多様性と無限性：柴田恭亮，10，1042.

援助するかかわりの中身：鷹井清吉，10，1047.

援助の可能性と限界・2

座談会／援助の可能性を求めて：国立療養所多磨全生園看護研究会，11，1139.

有効な援助とは何か：中尾アヤコ，11，1154.

看護は薬とどうかわるか

看護にとって薬とは何か：江本久枝，12，1251.

精神科看護場面で薬について問われること：尾上孝文，12，1256.

徹底した観察が看護の中核——乳児における与薬業務の場合：山本匡子，12，1261.

事例から考える薬へのかかわり方：帆刈美智，12，1265.

患者中心に薬を考える：朝比奈嫩葉，12，1271.

看護婦の薬による医療過誤：斉藤太郎，12，1275.

特別論稿

特別講演

病者の世界——看護婦さんに期待すること：清原迪夫，6，612.

らいの世界に生きる

らい患者が癌と闘って：藤井善，9，943.

対談／同じらいを病んだ者として友を看取って：藤井善・双見美智子，9，950.

この人たちから学びとらなければ——らい療養所での

看護を選んで：楨綾子，9，958.

特別対談

日本の看護は“理屈”と“記録”ですね——イギリスのナースは忙しく立ち働いています：Gwynneth A. Evans・季羽俊文子，10，1054.

臨床における学び

実習体験から何を学ぶか：白松万里子，10，1063.

私にとって“臨床実習”とは——体験と学びをともにして：土田和美，10，1068.

実習レポート/患者との生のぶつかり合いのなかから：長井敬子，10，1072.

ベッドサイドの看護

長期人工呼吸器離脱患者の看護：二宮道子・北島満子・坂本百合子・角美紀子・木村まきえ・篠沢美佐枝，1，56.

両親から虐待されていたKちゃんへの援助：江浦孝子，1，61.

入院生活適応困難な患児へのアプローチ：岡崎孝子・宮内恭子・前川ひで子・中嶋昌代・菅原久美，2，170.
ボケを伴った老人骨折患者の看護：新館知江子，2，178.
進行性筋ジストロフィー症児の末期時の看護を振り返って：前村久子・古橋祐子，3，288.

子後の不安に悩む患者へのアプローチ：山本光子，3，294.

心身症患者への交流分析的アプローチの試み：佐々木静・家弓ミワ子，4，384.

重症心身障害児の自立排便訓練への援助：上野節江，4，389.

進行性筋ジストロフィー症児の便秘に対する援助：前村久子・宮川ハルエ，4，394.

狭心症発作を頻発する高齢者の社会復帰を目指して：安部千鶴，4，398.

自殺の事例から学んだこと——自律神経失調症患者の看護の実際：宮川桂子・牛山フミ・北村和子，5，493.

脳卒中後遺症患者への援助を通して学んだこと：山内正子，5，500.

手術を拒否し続け転院した患者の看護——手術前看護を考える：山口正子・伊藤佳代子・小野寺綾子，5，506.

肝癌末期患児を通して死への看護を考える——患児とその家族へのアプローチ：西山美智恵・西嶋敬子，5，512.

死への看護のあり方を求めて——6つの事例の経験から：牧淳子，621.

入院で分離不安を起こした患児への援助：村田文子，7，731.

鎖肛術後患児への排便自立への援助：和田美根子・和久利啓子，8，830.

精神疾患をもった患者の術後の看護：市橋富子・金田美恵子・田中育美・藤木えり子，8，834.

経管栄養を拒む食道癌手術患者への心理的アプローチを試みて：国立療養所神奈川病院5病棟一同，8，838.

意思表示のはっきりしない老人患者への援助：大下信子・中村光江・野俣春美・土田美智子・和田知恵子・千野寿子，8，842.

自分の病気を悪性と疑う患者への援助——子宮癌末期患者の事例：佐藤登美子・伊藤チエ子・中村知恵子・竹田ユウ子・南部初巳，9，963.

長期入院患者の社会復帰への援助——精神分裂病で19年の入院生活の後社会復帰したSさんの事例を通して：山田繁子，10，1077.

リハビリテーションを中心とした訪問看護——脳卒中後に訪問看護によって歩行可能となった患者への援助：小谷英子・杉浦恵子・佐藤ハルイ・小門喜美子，11，1162.

中途失明者の社会復帰への援助：相馬博子・対馬涼江，11，1168.

重篤な感染症を反復する重障児への援助——ルイスバード症候群児の看護と療育：山口純子，11，1173.

習慣性嘔吐のある重障児への看護：岸森トシ子・牛川恭子・高口恵美子・小柳貞子，11，1178.

アルコール性肝障害患者の生活指導：山本喜美子・塩原悦子，11，1182.

視力障害と成長障害を伴った小児透析患者の看護：徳岡正子・林本保子，12，1281.

7歳までミルクで育った障害児の離乳への援助：菊池房子・藤原石子・阿部勝子・藤原一子・安藤きさ子・今野三代子，12，1285.

思春期における心身症患者への援助：菱嶋祥子・二宮照子・前野みつ，12，1290.

脳性麻痺患者の急性疾患と心身の発達への援助：田中明子，12，1294.

研究と報告

絆創膏テストの再検討：土屋さより・二戸輝美子・澄

川由理子・中山清子, 1, 66.

小児の入院における不安について——第2報 幼児の入院第1日目における不安の表現と背景: 長カッコ・杉田繁子・藤岡真理子・大村葉子・内海みよ子・川村房子・神谷美恵子・鳥井ウメヨ, 2, 182.

ライトブラストによる整形外科疾患患者の固定法の一考察: 伊藤理恵子・森口洋子, 4, 403.

老人失禁患者のためのおむつの工夫: 竹村美代子・萱野末子, 6, 627.

脊髄損傷患者のリハビリテーション看護——清浄自己導尿法の紹介を中心として: 四谷ひろみ・黒崎絹代・小野明美, 8, 846.

気管切開患者の看護——カニューレ抜去困難症のケース: 久保静江, 11, 1186.

経口摂取できない患者への食事の援助——食道癌患者の胃瘻食を中心に: 竹内まち子・小林律子・菊地春子・阿部令子, 11, 1192.

循環器科における食事と運動の併用療法: 寺島礼子・柳原順子・中倉滋夫・前田薫, 12, 1299.

学生の研究

成長発達が遅れていると思われる3歳児への援助: 平山久美子, 1, 70.

自分から言葉を発しない老人へのアプローチ: 沖奉子・森重育子, 2, 185.

学生の眼

夜間腹痛を訴える小児の看護: 佐々木祐美子, 4, 407.
うつ病患者の看護を通して‘受容’を考える: 堤啓子, 5, 517.

初めての実習を経験して: 住本裕子, 6, 630.
抑鬱傾向にある患者の看護を通して考えたアプローチの在り方: 名村美津枝, 7, 737.

気づき, そして確かめることの大切さ: 塩出敦子, 8, 850.

ネフローゼ症候群患者の看護——知能指数の低い青年期患者への生活指導の失敗例: 武藤三枝子, 12, 1302.

病める心の人とともに: 羽生りつ

患者との出会いを重ねながら, 1, 74.

精神科看護のあけぼの, 2, 189.

遊びを通しての看護, 3, 300.

ある看護婦のひと言で, 4, 412.

眠れぬ夜を過ごす人たち, 5, 524.

患者さんから教えられながら成長した私, 6, 636.

作業療法を振り返って, 7, 747.

青空がない, 青空がない, 8, 861.

薬物療法をすすめるなかで, 9, 971.

事故を通して学ぶ, 10, 1085.

社会復帰をすすめるなかで, 11, 1196.

かわりうる可能性を求めて, 12, 1307.

障害児を育てて——母親の手記: 本橋澄子

この子が死ぬなんて, 私は信じない, 6, 634.

障害をもつことの重荷を背負って, 7, 744.

少しのわがままも甘えも, あってはならない, 8, 857.

子とともに‘障害を生きる’幸せ, 9, 968.

天を怨まず, 人を咎めず……, 10, 1081.

世界のナースたち

シェリファット アデオエさん——ナイジェリア連邦共和国, 1, 2.

ハイジ クンツさん——スイス連邦, 2, 113.

ヘルガ ハールさん——ノルウェー王国, 3, 225.

J.T.コレイさん・L.K.パダラスさん——フィジー, 4, 337.

ハリ プラダンさん——ネパール王国, 5, 449.

J.K.M.コーティさん——ガーナ共和国, 6, 561.

レスニク ズドラフカさん——ユーゴスラビア社会主義連邦共和国, 7, 673.

アンネ P. マーチンさん——インド, 8, 785.

ルイザ タヌバサさん——西サモア, 9, 897.

S.サラーフェさん——イラン帝国, 10, 1009.

ブレマウティエー・シャムさん——モーリシャス, 11, 1121.

キャサリン・マククロリーさん——イギリス, 12, 1233.

アイディア

留置カテーテル用離被架: 小泉尚子, 1, 6.

点滴用固定シーネ・スタンドクリップ: 宮崎幸子, 2, 116.

筋ジス児の凍傷予防ブーツ: 成富明子・前村久子, 3, 228.

重障害児のための便器車: 国立療養所西別府病院小児科 6病棟, 4, 340.

女子重心児(者)の採尿器の工夫: 三田久美子, 5, 452.

食卓膳付移動式座椅子：須藤均，6，564.
腔式手術の覆布の改善：千葉市立病院手術室，7，676.
回腸導管造設術後の人工膀胱装具の工夫：山地葉子，
8，788.
ハルンバッグカバー：吉田美和子，蓄尿採取器：山本
和子，9，900.
緊急時避難用担架：国立東静岡病院西1階病棟，10，1012.
薬液ボトルと中心静脈圧・左房圧モニターの色別表示：
古場豊子・川畑安正，11，1124.
肝・腎生検時の創部水のう固定帯：宮越敦子，12，1236.

グラフ

PPC方式と6年間のローテーション教育でスタート—
看護婦の卒後教育に取り組む筑波大学付属病院，1，
10.
歯科看護の現場から——東京歯科大学市川病院を訪ね
て，2，122.
生き残ってしまう側の愛と苦悩を描いた白血病ドラマ
——肉親の絆とは何かを問いかける映画“ジョーイ”，
2，126.
ICUでの看護を求めて——7周年をむかえた北里大学
病院ICU，3，234.
ILO‘看護婦条約’の批准を求めて——第8回国民の健
康を守る看護大会，4，346.
知恵遅れの子供たちへの愛を描く——映画“春男の翔
んだ空”，4，350.
看護が必要なら，どこへでも——勤医協稲毛診療所の
訪問看護活動，5，458.
ホスピス——聖クリストファー・ホスピスの“終末医療”，
6，570.
聖クリストファー・ホスピスを訪ねて：渡辺淳，6，575.
‘老い’その生きがいを手探りながら——ホームヘルパ
ー松田さんの1日，7，682.
准看制度の廃止とILO‘看護職員条約’の批准をめざ
す——昭和53年度日本看護協会総会，8，794.
第24回医学書院看護学セミナー開かる——‘アメリカ
における看護活動の動向’をテーマに近藤潤子氏が
講演，8，799.
呼吸はどうか，チアノーゼはないか——常に緊張がと
けない小児循環器病棟の看護，神奈川県立こども医
療センター循環器病棟，9，906.
待つのではなく，出かけていく医療——東京都・北病
院のハンディ・キャブによる訪問看護，10，1018.

患者さんの顔にやっと笑いが——水俣病患者の施設・
明水園の看護，11，1130.
なんとか自発呼吸をしてもらいたい——リハビリの第
一步としてレスピレーターを外してみた，国立熊本
病院内科病棟，12，1242.

免疫と病気：矢田純一

免疫とはどのようなものか，1，81.
抗体とリンパ球，2，193.
感染症に対する免疫の働き，3，305.
免疫不全——免疫の働きが悪いとどうなるか，7，417.
アレルギー，5，529.
免疫反応による組織障害，6，641.
自己免疫病，7，753.
移植拒絶反応，8，865.
癌と免疫，9，977.
免疫療法，10，1089.
血清反応，11，1201.
診断に使われる免疫検査，12，1313.

やさしいX線写真の読み方

X線とは何か：平松慶博，1，85.
X線による被曝：平松慶博，2，197.
胸部写真(1)：平松慶博，3，309.
胸部写真(2)：平松慶博，4，421.
胸部写真(3)：平松慶博，5，533.
腹部写真(1)：平松慶博，6，645.
腹部写真(2)：平松慶博，7，757.
上部消化管X線検査(1)：広沢邦浩・平松慶博，8，869.
上部消化管X線検査(1)：広沢邦浩・平松慶博，9，981.
胃隆起性病変：広沢邦浩・平松慶博，10，1093.
大腸X線写真：広沢邦浩・平松慶博，11，1205.
血管造影(1)：広沢邦浩・平松慶博，12，1317.

救急医療と看護

呼吸器系救急疾患患者の看護のポイント：小浜啓次，
1，89.
消化器系救急疾患患者の看護のポイント：鈴木幸一郎，
2，201.
外傷患者看護のポイント：小浜啓次，3，313.
小児救急疾患患者の看護のポイント：佐藤喜美子，4，
425.
産婦人科疾患患者の看護のポイント：佐藤恒雄，5，537.

急性中毒症患者の看護のポイント：藤井千穂，6，649.
熱傷患者の看護のポイント：田伏久之，7，761.
破傷風，ガス壊疽，異物，溺水，電撃症：藤井千穂・
田伏久之，8，873.
救急患者に必要な検査および処置：青山喬，9，985.
救急診療と看護婦の医療過誤：松倉豊治，10，1097.
救急医療における看護体制：藤井町子，11，1209.
救急医療をもう一度考える：小浜啓次，12，1321.

目で見える移動・介助の実技：野々垣嘉男

進行性筋ジストロフィー症(ドウシャンヌ型)9——移
動動作と介助・2，1，93.
進行性筋ジストロフィー症(ドウシャンヌ型)10——移
動動作と介助・3，2，205.
進行性筋ジストロフィー症(ドウシャンヌ型)11——移
動動作と介助・4，3，317.
進行性筋ジストロフィー症(ドウシャンヌ型)12——移
動動作と介助・5，4，429.

脳性麻痺児の発達とその援助：井上保

正常児の運動・発達—1，5，541.
正常児の運動・発達—2，6，653.
麻痺児の運動や姿勢の特徴，7，765.
麻痺児の介助の実際—1，8，877.
麻痺児の介助の実際—2——衣服の着脱・1，9，989.
麻痺児の介助の実際—3——衣服の着脱・2，10，1101.
麻痺児の介助の実際—4，11，1213.
麻痺児の介助の実際—5——‘抱っこ’の仕方，12，1325.

プロフィール

〈伊藤篤子〉子供を育てるように循環器看護を育てたい
——国立循環器病センターの初代看護部長，1，97.
〈立山正子〉患者さんからお礼に物をもらうなんて——
お礼辞退運動をしている秋田県看護婦部会長，2，209.
〈柏谷幸〉‘とにかく、いるだけで安心だよ’と言われま
した——外国航路のシップナースとして8か月間乗
船勤務，3，321.
〈百瀬絹世〉老人がほんとうに求めているものを知りた
くて——特養ホームの老人へのボランティア活動に
励む，4，433.
〈長浜晴子〉アメリカ看護を創り上げたスピリットを学
ぶ——アメリカを内側から見事に描いた“アメリカ看
護を学ぶ”の著者，5，545.

〈船場宮子〉看護には定年はありませんね——公立病院
定年後も総婦長として看護に打ち込む，6，657.
〈神原守〉とにかく人間を知ろうということで集まった
——看護者の自己学習会‘人間を考える会’の会長，
7，769.
〈根本牧子〉自分の心をいつも磨いていたい——神と人
とに仕えられる道として看護を選ぶ，8，881.
〈丑番澄子〉9年間，何度も挫折しかかりました——オ
クラホマ・バプテスト大学看護学部卒業のフレッシ
ュナース，9，993.
〈大谷美佐恵〉私は村の保健婦が好きです——無医地区
もある過疎の村でたった1人の保健婦としてがんば
る，10，1105.
〈ジェニー・マクダニエル〉日本の看護婦さんの休みは
少なすぎますね——宣教師として来日，淀川キリス
ト教病院で働くアメリカのナース，11，1217.
〈谷口玲子〉活動をやめたら加害者の立場に……——
森永ヒ素ミルク中毒問題に今も積極的に取り組む保
健婦，12，1329.

ルポ・アメリカ合衆国のナース——

その生活と意見：江元セツ

ナースとしての意識，1，98.
ユニホーム，2，210.
患者気質，3，322.
給料，4，434.
セント・メリーズ病院，5，546.
教育，6，658.
ドクター，7，770.
勤務交代と日常業務，8，882.
キャロルの生き方，9，994.
社会の中のナース，10，1106.
プライマリーナースング，11，1218.
激しく揺れ動く社会と一貫して変わらぬ患者中心の医
療，12，1330.

ホームヘルパー跳びある記：松田万知代

駆け足のヨーロッパ研修—1，5，554.
駆け足のヨーロッパ研修—2，6，668.
‘福祉’の免罪符？，7，773.
巡回移動入浴サービス，8，885.
‘古い’に歪むパーソナリティ，9，997.
福祉の中核的役割というけれど……，10，1109.

疎外のなかの孤独, 11, 1221.
与えられる‘生きがい’?!, 12, 1333.

ナースとほん

方法としての面接——臨床家のために (土居健郎著):
木原陽子, 1, 102.
小児医学/特集・小児看護の問題点, 1, 103.
看護の自立——現代医療と看護婦(川島みどり著): 浅
川秀子, 2, 213.
病める医療(エコノミスト編集部編): 近藤益子, 2, 214.
すばらしき復活——らい全快者奇蹟の社会復帰 (田中
一良著): 松本治代, 3, 326.
児童精神衛生相談の実際——問題児と家族の事例研究
(池田由子編著): 三浦晴夫, 3, 327.
痛みの周辺(清原迪夫編): 井村ヒロエ, 4, 437.
看護事例検討集 I 問われ, 問いつづける看護(外口玉
子編著): 荻野恒一, 4, 438.
植物人間の記録(藤田真一著): 忠政敏子, 5, 550.
看護理論と実践の接点・第2版(波多野梗子著): 千野
静香, 5, 551.
医者女房(福中都生子著): ペっしょちえこ, 6, 662.
心身障害幼児の養育技術(原田政美監修): 石田ヒサ子,
6, 663.
プログラム学習 整形外科看護(N.A.BRUNNER 著,
滝川一興訳): 笹谷ミキ, 7, 774.
老後のカルテ——ホームヘルパーの訪問日誌 (松田万
知代著): 星美代子, 7, 775.
痛み——リハビリテーションにおけるアプローチ (石
田肇編集): 松井恭子, 8, 886.
医療のこころ——病む人に向き合う倫理(野村実著):
森泉トシヨ, 8, 887.
図説脳卒中のリハビリテーション——家庭での処置か
ら病院での訓練まで(服部一郎・細川忠義著): 藤原
佳子, 9, 998.
難病患者の在宅ケア(川村佐和子・木下安子ほか著):
加藤登志子, 9, 999.
ナースに必要な診断の知識と技術(日野原重明ほか著):
木下安子, 10, 1110.
話の聴ける看護婦になるために——対人・対話関係の
技術(上野轟著): 瀬戸ロマサ子, 10, 1111.
看護のためのPOS(Woolley ほか著, 日野原重明ほか
訳): 松本光子, 10, 1112.
人間関係——看護・福祉・教育の探究(大段智亮著):

鷹井清吉, 11, 1222.

死にゆく人々のケア——末期患者へのチームアプロ
ーチ(柏木哲夫著): 塚本靖子, 11, 1223.
開かれている病棟(石川信義著): 橋本きみ, 11, 1224.
臨死患者——死をみとる医療のために (R. W. Raven
編集, 谷莊吉訳): 柏木哲夫, 12, 1334.
530のプログラム教程——内分泌病へのアプローチ(入
江実・吉田尚著): 免田紀子, 12, 1335.

看護界ニュース

第10回北陸地区看護研究学会・第32回国立病院療養
所総合医学会, 1, 104.
第36回日本公衆衛生学会総会・第8回日本看護学会成
人看護分科会, 1, 105.
第13回東海四県看護研究学会・第10回東北地区看護
研究学会・第11回関東地区看護研究学会, 2, 216.
第3回日本病院会学会・和歌山看護学セミナー第4回
看護討論会, 2, 217.
第1回死の臨床研究会, 3, 238.
全国ホームケア研究会が発足・第8回日本看護学会地
域看護分科会, 3, 239.
第9回近畿地区看護研究学会・第9回四国地区看護研
究学会・第14回九州地区看護研究学会, 5, 553.
東京民医連第9回看護活動研究集会, 6, 665.
‘看護を考える市民と看護婦の集い’(第2回)——‘付
き添い看護’をテーマに話し合い, 7, 777.
第9回日本看護学会教育分科会・伊東シズさんらの論
文‘メディカルトリビュン優秀看護婦賞’を受賞,
8, 889.
第9回日本看護学会管理分科会・プライマリーケア学
会がスタート, 9, 1001.
第9回日本看護学会成人看護分科会・‘在宅患者への看
護’映画と講演会の集い・‘ナースのための新しい知
識と技術’講演会開かる, 10, 1118.
第4回医療と教育に関する国際セミナー‘地域医療に
おける健康教育と実践’を討議, 12, 1338.
第9回日本看護学会成人看護分科会・第9回日本看護
学会母性看護分科会・第9回日本看護学会小児看護
分科会, 12, 1339.

看護サロン

看護かるた——患者・看護婦・医師の接点に立って:
高橋雅俊, 1, 106.

受け持ちのFさんが亡くなって：山崎智代美，1，109.
ある大晦：松本こずえ，1，110.
特別養護老人ホームにおける利用者の実態と健康管理
について：山崎政枝・金子克江，2，218.
学ぶことのすばらしさ：坂下涼子，2，220.
胸に校章：松岡邦子，2，222.
台湾の医療と看護——私たちの研修旅行レポート：小
野清美，3，330.
瀬波から：横田嶺子，3，334.
病める人々とともに，看護の道は遠く：楠本香澄，4，
442.
私は精神科のナースです：渡辺美智代，4，444.
ナースとして働いて4か月が過ぎて：M.T.，4，446.
天国にいるTさんへの手紙：大林匡子，5，557.
“人間をみつめて”(神谷美恵子著)を読んで：高嶋久子，
5，558.
‘患者中心の看護’を求めて：和田豊子，6，671.
技術よりも‘思いやり’と‘やさしさ’が心にしみる——
看護される立場から：千島染太郎，7，778.
3年間の学習体験から：高下浩子，7，779.
管理者のあり方を考えさせられる——“最後の診断”を
読んで：今成邦子，7，780.
‘障害を生きた’患者さんの笑顔に：三森節子，7，782.
看護師の役割について：鈴木保，8，890.
美しい雨粒のように：千島染太郎，8，892.
精神科勤務を辞めるに当たって思うこと：谷貞子，8，
894.
未熟な看護ゆえの失敗：村山和代，9，1002.
今日的看護の道標を考える：橋本正二，9，1002.
‘看護’ということの意味：津田順吉，9，1006.
未熟児医療・看護の質を問う：伊川すすむ，10，1114.
深夜勤務の看護婦にみる3つのタイプ：千島染太郎，
10，1115.
‘あなたも私も病める人’——精神科看護者の姿勢にひ
と言：鈴木保，10，1117.
癌患者の母を看とって：牛尾千歳，11，1226.
入院生活を通して“患者中心の援助”を考え直す：南雲
常子，11，1231.
このごろ思うこと：瓜田洋子，12，1340.
病室の片隅で：中村圭子，12，1341.

トピックス

身体障害者用続書補助器，4，368.

先天性股関節脱臼予防のためのおむつカバー：篠原寛
休，4，440.
アメリカで働きたい看護婦さんへ——世界30か国で試
験，6，666.
身障者用電気自動車，7，716.
子供用支え椅子とトイレ用シート，7，729.
助産婦さんバングラデシュへ——医療宣教師として7
月に日本を出発，8，864.
身障者の水治療用リフト，9，932.

看護ミニ事典

針麻酔：山本亨・山田仁一/Polysurgery：鈴木快輔，1.
未熟(児)網膜症：前原澄子/バイオリズム：石川稔生，2.
ナース・プラクティショナー/クリニカル・ナース・
スペシャリスト(ナース・クリニシャン)：松本光子，3.
超音波診断：竹内久彌/透析療法：太田和夫，4.
ラポール：中島紀恵子/川崎病：川崎富作，5.
疫学：中島紀恵子/引き金：内海滉，6.
医原性疾患：内海滉/コミュニケーション：中島紀恵
子，7.
ナーシングホーム：草刈淳子/先天性代謝異常：多田
啓也，8.
プライマリー・ヘルス・ケア/プライマリー・ナーシ
ング：松本光子，9.
羊水診断/IUD：竹内久彌，10.
冷凍血液：隅田幸男/HB抗原：矢野右人，11.
大腿四頭筋短縮(拘縮)症：宮田雄祐/幻肢痛：橘直
矢，12.

新しい薬の知識：斉藤太郎

点滴用ドキシサイクリン/サスタジエン，1.
メシル酸ガベキサート/スルピリド，2.
ロラゼパム/クロモグリク酸ナトリウム，3.
チトクロームC/塩酸プフェトロール，4.
硫酸オルシブレナリン/プフェキサマック，5.
クロフェゾン/臭化チノピジウム，6.
メコバラミン/ケトプロフェン，7.
硫酸サルブタモール/セフラジン，8.
メダゼパム/カルシトニン，9.
メタンスルホン酸ジヒドロエルゴタミン/塩酸アルブ
レノロール，10.
セファセトリルナトリウム/フルドロキシコルチド，11.
塩酸クロニジン/ハロペリドール，12.